

2024年11月28日

## 新型 BMW X3 誕生

### すべてのラインアップに 48V マイルド・ハイブリッド・システムを搭載 M パフォーマンス・モデル BMW X3 M50 xDrive をラインアップ

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：長谷川正敏）は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおける SAV「BMW X3（エックススリー）」の新型モデル（全面改良）を、全国の BMW 正規ディーラーにおいて、本日より販売を開始する。納車は、2024 年 12 月以降を予定している。

BMW X3 は、プレミアム・コンパクト・セグメントに属する SAV（スポーツ・アクティビティ・ビークル）であり、2003 年に初代モデルが誕生した。一般的な SUV（スポーツ・ユーティリティ・ビークル）とは異なり、約 50:50 の理想的な前後重量配分、スポーティで俊敏なハンドリング性能、インテリジェント 4 輪駆動システム「xDrive（エックスドライブ）」等を採用することで、オンロード走行性能を高めた SAV という革新的なコンセプトによって新たなセグメントを確立した。2011 年には「駆けぬける喜び」と高い環境性能を実現する BMW EfficientDynamics（エフィシエントダイナミクス）の理念に基づく数々の技術を採用した第 2 世代へと進化した。2017 年には、洗練されたアグレッシブかつ大胆なエクステリア・デザイン、モダンかつラグジュアリーなインテリア・デザインを持つ第 3 世代へと進化し、高効率ガソリン・エンジン搭載モデル、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデル、48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載モデル、プラグイン・ハイブリッド・システム搭載モデル、さらには、BMW X モデルとして初となる電気自動車 BMW iX3（アイエックススリー）もラインアップした。

#### メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	メーカー希望小売価格
<b>高効率ガソリン・エンジンおよび 48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載モデル</b>	
BMW X3 20 xDrive xLine	7,980,000 円
BMW X3 M50 xDrive	9,980,000 円
<b>クリーン・ディーゼル・エンジンおよび 48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載モデル</b>	
BMW X3 20d xDrive M Sport	8,580,000 円

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。
- 右ハンドル、8 速オートマチック・トランスミッション仕様

第 4 世代モデルへと進化した新型 BMW X3 は、BMW X モデルとして初めて、象徴的なキドニー・グリルに斜めのデザイン\*を取り入れると共に立体的なプレスラインを採用する事で、一層スポーティな印象に生まれ変わっている。また、すべてのラインアップに 48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載モデルを投入する等、最新テクノロジーの採用により環境性能をさらに高めると共に、デジタルライゼーションも積極的に進め、唯一無二の SAV モデルとして「駆けぬける喜び」のさらなる高みに挑戦している。

\*: BMW X3 20 xDrive xLine および BMW X3 20d xDrive M Sport に搭載となります。

## デザイン

フロント・デザインは、BMW 特有のキドニー・グリルに斬新な斜めのデザイン\*を取り入れ、さらに、BMW デザインの意匠の 1 つである環状のシグネチャーを 2 回繰り返すツイン・サーキュラーを進化させ、よりシャープかつスポーティなデザインのアダプティブ LED ヘッドライトが印象的である。新世代のデザイン言語により、フロント・デザイン全面をクリーンな表面にシャープなラインで表現して存在感を向上させ、モダンなデザインと相まって、金属の塊から削り出したようなスポーティかつ力強いプロポーションをアピールしている。さらに、BMW 7 シリーズや BMW 5 シリーズで採用の、夜間に BMW 特有のキドニー・グリルの縁をライトアップし BMW を印象付けるアイコニック・グローを、プレミアム・コンパクト・セグメントとして初めて新型 BMW X3 に採用している。

サイド・デザインは、フラットなルーフ・ライン、後方に向かってキックアップする力強いショルダー・ライン、伸びやかなボンネット、先代モデルより伸びた全長や低くなった車高により、疾走感を与えられ、SAV でありながら、よりフラットかつスポーティなサイド・ビューを実現している。

リヤ・デザインにおいては、プレスラインを最小限にし、ナンバープレートの取り付け位置をバンパーに収め、テールライトのデザインを立体的な T 型にすることで、クリーンかつモダンな印象を与えている。リアのトレッドは先代モデルに比べ+45mm となり、スポーティなリヤ・ビュー、コーナリング時のハンドリングを向上させている。さらに、M パフォーマンス・モデル BMW X3 M50 xDrive には、4 本出しのエグゾースト・パイプを採用することで、アグレッシブな印象が表現されている。

インテリアは、メーターパネルとコントロール・ディスプレイを一体化させ大型化し存在感を増しつつ、運転席側に傾けることで視認性を高め、タッチ操作による操作性を高めた BMW カーブド・ディスプレイを採用し、さらに、シフト・レバーを廃止し、センター・アームレストに操作系を全て納めることで、モダンな印象を高めている。また、アンビエント・ライトの演出が施されたセンター・コンソールは、Qi 対応機器（スマートフォン等）を置く事で充電も可能となる等、利便性も高めている。特に夜間の車内を演出するアンビエント・ライトは、コックピット周りだけではなく、ドア・パネル内にも配置することで、立体感、躍動感のあるデザインに仕上げられている。

リアは、大人 3 名が座れる空間を確保すると共に、40:20:40 分割可倒シートの採用により、ラゲッジ・スペースは、大人 3 名乗車時には 570L、リア・シートを前方に全て倒すことで最大 1,700L にまで拡大させることが可能である。

## パワートレインおよびドライビング・ダイナミクス

BMW X3 20 xDrive xLine (ニーマル・エクストライブ・エクスライン) は、最高出力 140kW/5,000 rpm、最大トルク 310Nm/1,500-4,000rpm を発揮する高効率な 2.0L 直列 4 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンを搭載し、ダイナミックな走りを実現する 8 速オートマチック・トランスミッション、インテリジェント 4 輪駆動システム xDrive、さらには、48V マイルド・ハイブリッド・システムを組み合わせることで、システム・トータル最高出力 140kW\*、システム・トータル最大トルク 310Nm\*を実現している。

BMW X3 20d xDrive M Sport (ニーマルディー・エクストライブ・エム・スポーツ) は、最高出力 145kW/4,000 rpm、最大トルク 400Nm/1,500-2,750rpm を発揮する高効率な 2.0L 直列 4 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ディーゼル・エンジンを搭載し、ダイナミックな走りを実現する 8 速オートマチック・

トランスミッション、インテリジェント 4 輪駆動システム xDrive、さらには、48V マイルド・ハイブリッド・システムを組み合わせることで、システム・トータル最高出力 145kW\*、システム・トータル最大トルク 400Nm\*を実現している。また、M スポーツ・サスペンションの搭載により、快適性と操舵性を大幅に向上している。

BMW X3 M50 xDrive (エムゴーマル・エックスドライブ) は、BMW M 社が開発する、本格的なサーキット走行で培われた技術を余すことなく取り入れ走行性能を高めた M パフォーマンス・モデルである。最高出力 280kW/5,500 rpm、最大トルク 540Nm/1,900-4,800rpm を発揮する高効率な 3.0L 直列 6 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンを搭載し、ダイナミックな走りを実現する 8 速オートマチック・トランスミッション、インテリジェント 4 輪駆動システム xDrive、48V マイルド・ハイブリッド・システムを組み合わせることで、システム・トータル最高出力 293kW\*、システム・トータル最大トルク 580Nm\*を実現している。また、電子制御式の M スポーツ・デファレンシャル、アダプティブ M サスペンション、バリアブル・スポーツ・ステアリング、M スポーツ・ブレーキ (レッド・ハイグロス・キャリパー) 等々を組み合わせることで、ダイナミックな走りと共に、M パフォーマンス・モデルに相応しい駆けぬける喜びを提供する。

\*: 自社データ (参考値)

### ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

BMW 社が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が搭載されている。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路\*<sup>1</sup>での渋滞時において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能\*<sup>2</sup>となる。

\*1: 高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。

\*2: SAE International (Society of Automotive Engineers) が定めるレベル 2 の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

### 安全機能・運転支援システム「ドライビング・アシスト・プロフェッショナル」、自動駐車が可能となる「パーキング・アシスト・プラス」を標準装備

高性能カメラ&レーダー、および高性能プロセッサーによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の運転支援システムを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール (ストップ&ゴー機能付)、レーン・チェンジ・ウォーニング (車線変更警告システム) およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング (車線逸脱警告システム)、ステアリング&レーン・コントロール・アシスト、サイド・コリジョン・プロテクションおよび衝突回避・被害軽減ブレーキ (事故回避ステアリング付)、クロス・トラフィック・ウォーニング、ペダル踏み間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。

ConnectedDrive Store にて購入可能なパーキング・アシスト・プロフェッショナルを装備すると、時速 35km 以下で車両が直前に前進したルート最大 200m までを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となるリバース・アシスト・プロフェッショナル機能を利用することが可能である。日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

さらに、駐車時に、ステアリング、アクセル、ブレーキ操作が一切不要なマニユーマー・アシスト (駐車経

路自動誘導機能)が、標準装備となる。自宅駐車場、勤務先駐車場を車両に登録しておくことで、駐車スペースが近づくと、車両が自動で検知し、検知後は自動駐車が可能となる。

駐車場所の記録は最大 10 ヶ所の登録が可能であり、最大 200m までの駐車操作 (合計 600m まで) を記録できる為、狭いスペースで複雑な切り替えしが必要な場合でも正確に再現することが可能である。

また、駐車スペースの幅が狭い場合はドライバーが下車し、車外よりスマートフォンでコントロールすることができる「リモート・パーキング」機能によりスマートかつ快適に駐車操作を行うことも可能である。

## 最新の BMW iDrive および BMW オペレーティング・システム 9

BMW オペレーティング・システム 9 をベースに、進化した BMW カーブド・ディスプレイと「QuickSelect」機能を備えた制御システム、運転席側に機能アイコンを縦に並べたホーム画面を備えている。「QuickSelect」機能により、サブ・メニューに切り替えることなく機能に直接アクセスできるため、メニュー構造が大幅に改良され、操作しやすくしている。新しい BMW iDrive は、BMW カーブド・ディスプレイおよび BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントとも組み合わせられ、タッチ・ディスプレイと音声入力でも操作できるように設計され、さらに、透明なクリスタル仕上げの iDrive コントローラーでも操作が可能となっている。また、好みのアプリをダウンロードすることが可能となり、スマートフォン同様に、BMW カーブド・ディスプレイ上で、操作することが可能である。

## BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報を IT ネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして 2013 年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2021 年夏には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「My BMW」を導入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携帯していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。

## BMW デジタル・プレミアム

最新のオペレーティング・システム 9 をベースに展開する「BMW デジタル・プレミアム\*1」では、さらなる利便性と愉しさを提供する。オンライン・マップを採用した BMW Maps の拡張機能により、これまで以上に容易に目的地に到着することが可能である。また、新たにサードパーティ・アプリ・ストアを車内にて提供し、音楽 (Amazon Music、Spotify など)、ゲーム、ラジオ、ポッドキャスト、最新ニュースからビデオ・ストーリーミング (U-NEXT など) といった様々なアプリをデータ通信料無料で利用することが可能\*2 である。さらに、ドライバーの好みや気分に応じてカスタマイズできる機能を強化し、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントによるルーティン・タスクの代行や MY MODES による多様な走行特性と室内演出を愉しむことが可能である。

\*1: 無料トライアル付きの有料サブスクリプションへの加入が必要となります。

\*2: サードパーティ・アプリの中には、別途、登録や契約が必要となるアプリがあります。

### **BMW Intelligent Personal Assistant (インテリジェント・パーソナル・アシスタント)**

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる BMW 最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMW のインテリジェント・パーソナル・アシスタントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW (オーケー・ビー・エム・ダブリュー)」だけでなく、例えば、「X3」と、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。

車両に話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能であり、Apple CarPlay および Android Auto への対応や、BMW コネクテッド・ドライブ標準装備により、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、大きな利便性がある。

### **Amazon Alexa**

Alexa は、Amazon が提供するクラウドベースの音声サービスあり、全世界で利用され、日本においても、日本語による音声サービスが提供されている。Alexa は、Amazon Echo シリーズなどのデバイスに搭載されており、Alexa に話しかけるだけで天気予報やニュースの確認、音楽ストリーミングの再生、Amazon.co.jp でのショッピング、対応するスマートホームデバイスの操作などが可能になる。オーナーのスマートフォン上アプリ「My BMW」を使用して、車両を Alexa と連携させることにより、自宅さながら、Alexa の様々なサービスや機能を利用することが可能となる。

### **3年間の主要メンテナンスが無償となる BMW サービス・インクルーシブ・プラス**

3年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」は、2016年より BMW 全モデルに標準装備された新しいメンテナンス・パッケージであり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

### **主な車両諸元**

- BMW X3 20 xDrive xLine  
全長 4,755mm、全幅 1,920mm、全高 1,660mm、ホイールベース 2,865mm、車両重量 1,890kg、車両総重量 2,165kg、排気量 1,998cc、直列4気筒ガソリン・エンジン、エンジン最高出力 140kW/5,000rpm、エンジン最大トルク 310Nm/1,500-4,000rpm、電気モーター最高出力 8kW/3,000rpm、電気モーター最大トルク 25Nm/500rpm、システム・トータル最高出力 140kW\*、システム・トータル最大トルク 310Nm\*、WLTC モード燃料消費率 13.1km/L。  
\*: 自社データ (参考値)
- BMW X3 20d xDrive M Sport  
全長 4,755mm、全幅 1,920mm、全高 1,660mm、ホイールベース 2,865mm、車両重量 1,930kg、

車両総重量 2,205kg、排気量 1,995cc、直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、エンジン最高出力 145kW/4,000 rpm、エンジン最大トルク 400Nm/1,500-2,750rpm、電気モーター最高出力 8kW/3,000rpm、電気モーター最大トルク 25Nm/500rpm、システム・トータル最高出力 145kW\*、システム・トータル最大トルク 400Nm\*、WLTC モード燃料消費率 16.3km/L。

\*: 自社データ (参考値)

- BMW X3 M50 xDrive

全長 4,755mm、全幅 1,920mm、全高 1,660mm、ホイールベース 2,865mm、車両重量 2,000kg、車両総重量 2,275kg、排気量 2,997cc、直列 6 気筒ガソリン・エンジン、エンジン最高出力 280kW/5,500 rpm、エンジン最大トルク 540Nm/1,900-4,800rpm、電気モーター最高出力 13kW/2,000rpm、電気モーター最大トルク 200Nm/0-500rpm、システム・トータル最高出力 293kW\*、システム・トータル最大トルク 580Nm\*、WLTC モード燃料消費率 11.9km/L。

\*: 自社データ (参考値)

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>